

「言語文化研究科アニュアルレポート」について

「言語文化研究科アニュアルレポート」の歴史は、旧言語文化部が昭和 58 年度（1983 年度）に創刊した広報誌『言文だより』にさかのぼります。当時の『言文だより』は、各号に数編の「随想」を掲載するなど、どちらかといえば「文集」に近いものでしたが、その編集方針を大きく変更するきっかけとなったのも、大阪外国語大学との統合に伴う研究科の再編拡充でした。平成 20 年度（2008 年度）の『言文だより』からは「言語文化研究科 2008」等のサブタイトルを付け加え、研究科の教育研究活動や教員の研究業績等についてより詳細なデータを掲載することにしました。平成 24 年度（2012 年度）からは、「言語文化研究科 2012」等がメインタイトルとなり、サブタイトルに「Annual Report」という文字も入りました。

平成 29 年度（2017 年度）からは本研究科の教育研究活動をより幅広い方々にご報告することを目的に、報告書は紙媒体から電子媒体に改められ、ホームページに掲載されるようになりました。また、それ以前は紙媒体の報告書を年度内に刊行するために、その記事の一部は前年度の 11 月から当該年度の 10 月までのデータとしていましたが、2017 年度版からは Web 化を機にすべてのデータを当該年度内のものに統一することにしました。

本研究科におきましては、このアニュアルレポートを自己評価報告書としてとらえ、本研究科のさらなる改善や発展のために活かしていきたいと考えています。ご関心を引く記事だけでもご覧いただけましたら幸いに存じます。